

ひがし 60 / 1 / 15

No. 289

しらかわ

広報

人口の動き

—12月末住民登録人口から—

世帯数	9 2 9 世帯
人 口	3,639人
転 入	4人
転 出	6人
出 生	4人
死 亡	5人

先月と比較して3人減

昨年同月と比較して72人減

■発行 東白川村 ■編集 東白川村総務課 ■〒 509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎057478> 3 | | | ・内線 3 4 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社



今年は
丑年

本村の牛の歴史はまだ浅く、大正8年の産業統計にはじめて乳牛1頭が記載されています。その後大正13年に和牛25頭が導入され、さらに昭和に入り耕牛として1戸1頭飼いとてどんどん増え、明治30年にピークであった馬425頭にとって代わりました。

現在では、22戸の畜産農家が580頭を飼育しています。

かつては運材の主流であった土太挽き（安江巽さん＝大明神）

—— おもな内容 ——

- ☐ 年頭のあいさつ……………P 3
- ☐ 五加センターが完成……………P 4
- ☐ 消防団出初め式……………P 5
- ☐ 遠くて近い国
チェコスロバキア②……………P 6
- ☐ 学級・講座紹介⑤……………P 7
- ☐ お知らせ……………P 8
- ☐ 村県民税・所得税
申告はお早めに……………P 9
- ☐ 暮らしのカレンダー……………P 10
- ☐ ふるさとの民具⑩……………P 11
- ☐ カメラの目……………P 12
- ☐ けいじ板はP 4～6の下欄



あけまして おめでとうござい います

昭和六十年 元旦

あけましておめでとうござい
ます。

今年は丑年、あなたは牛とい
うとどんな連想をしますか。の
んびり、のっそり、それとも厚
いビフテキ、牛肉の貿易自由化
問題、と思いはさまざまでし
う。

近ごろ、若い人のマスコット
として、なぜか白と黒の牛が流
行しています。牛が役牛として
田畑を耕しているのを見たこと
のない若者たちには、牧場での
んびりと暮らしている乳牛は、
童話の世界に出てくるようなペ
ットとしてのイメージが強い
でしょう。

しかし、歴史をさかのぼって
みますと、牛はペットどころか
「新技術」だったことが分か
ります。

牛に引かせたすきによる耕作
は、紀元前三〇〇〇年ごろ、メ
ソポタミア（現在のイラクを中
心とした地域）やエジプトで発
明されていたそうです。
この新技術は、くわによる耕

作に比べ、はるかに広い田畑を
深く掘り返すことができ、農業
の生産力に革命的な進歩をもた
らした、ということなのです。

その後、農業のほか交通、運
搬などにも牛が用いられるよう
になりましたが、これは、人間
が自分の肉体以外の力を動力に
利用した最初の試みの一つだと
されています。そして、十七
十八世紀になって蒸気機関が発
明・実用化されるまで、牛をし
のぐ技術上の進歩は見られない
といえますから、いかに長い間
牛が新技術として「君臨」して
きたかが分かります。

とはいえ、最近では、めった
に牛の働く姿が見られなくなり
ました。かつての新技術も、い
まやすっかり耕うん機などに
その座をうばわれてしまったよ
うです。

さて、今年の丑年、モウ烈に
生きるもよし、のんびりと人生
を反芻しながら生きるもよし、
ともかくも角つき合わずに仲
よくいききたいものです。



今年は 国際青年年

未来を築く——それはいつの
時代も青年の役割です。家庭、
地域社会、国際社会など青年を
取り巻く「社会」はさまざまで
すが、青年が自らの意思、判断
活動によって積極的に社会参加
を進めていくことが求められて
います。

昭和六十年は、国連の定めた
国際青年年。「参加・開発・平
和」というテーマのもとに青年
が社会参加をどのように進め、
また、自分たちに与えられた課
題にどのように取り組むべきか
——国際青年年への青年の主体

的、積極的な参加が期待されて
います。

世界には、食糧をはじめエネ
ルギー、人口などの問題が存在
する一方、世界の青年人口は一
九七五年から二〇〇〇年までに
七億三千八百万人から十一億八
千万人に増加すると推定され、
こうした青年人口の増加が、経
済や社会のさまざまな面で青年
に影響を及ぼすものと考えられ
ています。

これらの問題の解決は、将来
を担う若さと行動力あふれる青
年に期待するところが多く、国
連が「国際青年年」を設定した
背景には、青年の果たすこうし
た役割の重要性を世界の人々に
理解してもらい、また、青年自
身に理解と自覚を促すことにあ
ります。

国、地方公共団体および民間
関係団体では、連携をとりつつ
青年の社会への参加や理解を求
めながら、国際青年年事業を推
進していく予定です。



新年明けまして、おめでとございます。

皆様には、ご健勝にて輝かしい希望に満ちた昭和六十年の新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。

最近の厳しい社会経済情勢の中で、国民的重要課題として財政再建、行政改革など本格的取り組みが進められ、これらの動向が地方自治体に波及する所が極めて多いことはご承知の通りであります。

本村もこの中であつて厳しい環境におかれた一年ではありましたが、地域社会を支えるものは、そこに住む人々の力であるといわれるように、「地域の時代」への始動をよく認識され、村づくり、地域づくりにご理解と積極的なご協力を賜り、おかげ様で円滑な諸施策、諸事業の進展を見ることができましたことを、心から厚く御礼申し上げます。



年頭のあいさつ

明るさと活力ある

豊かな村づくり

東白川村長 安江多策

故郷として構築しなければならぬと存じます。

そのための村づくり総合計画により、地域産業の振興と生活環境の改善に、みんなの力と諸制度を活用しながら、力強く推進致している所であります。申し上げますまでもなく、地域振興にとって最も大切なものは「住民の力」すなわち共同体的な連帯感と協調の心、人の和であり

新しい年を迎え、本年も相変わらず地域を取りまく環境と条件は、マクロにおいてもミクロに

においても激しく変化し、まさに秒進分歩の時代といわれる中で、経済的にも社会的にも一段と厳しい年となることが予想されます。

しかし私たちは、この故郷に住み、ここに働き、かつ学び憩うという毎日の生活を、より快適に過す場として、より豊かで、より温かく、明るさと活力ある

ます。心のふれ合う、心の通い合う、温かい人間関係こそが、明るい地域社会、住みよい故郷を創り出す原動力であり、お互いに相手の立場に立つてものを考え、本音で話し合える、ここに本来の人間関係が生まれるものと信じます。

新春に際してわたしは、今ま

そして、人々は健康と働きを保障される社会を、自らの手で、皆んなの力で創り出して行かねばなりません。

「カニは甲羅に似せて穴を掘るのたとえがあるように、それぞれの立場、それぞれの役割をこ認識賜わり、おのの自我をすて、この小さな村を質的に大きな村にするよう、生活と経済各

でにない、ほのぼのとした明るさを感じました。山村独特の素朴な温かい人間関係が新しい息吹きと共に地域ごとに躍動を重ねていることを心から嬉しく存じます。

厳しい社会環境の中で、活力を生み出し明るく豊かな生活を営む地域社会、すなわち、子供たちは健やかな遊びと勉学が、お年寄りには安らぎと生き甲斐を、

産業の調和する故郷づくりに、更に積極的に邁進する覚悟でありますので、本年も相変らずご理解あるご協力とご支援を心からお願い申し上げますと共に、皆様のご健康で一層のご活躍をお祈りしまして、新年のごあいさついたします。

獅子舞い

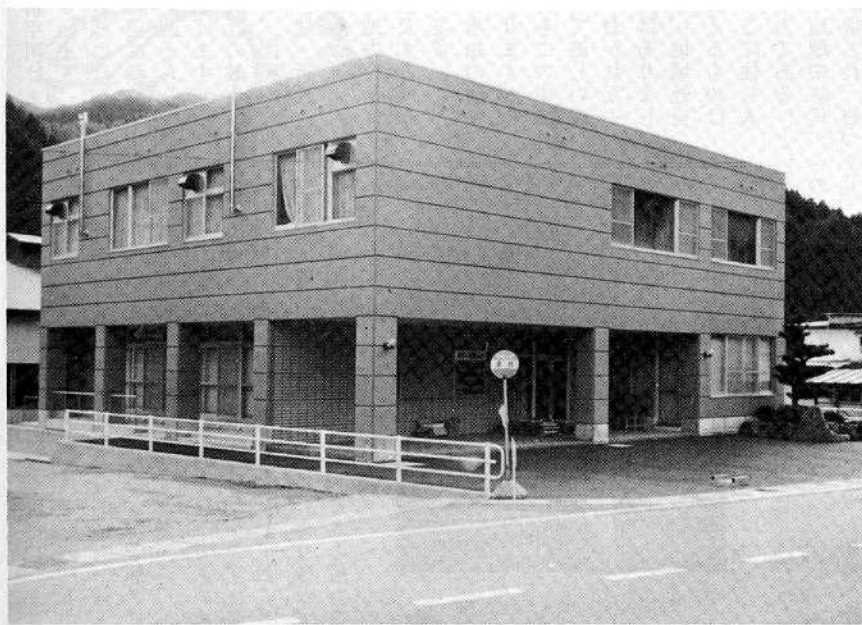
がらりと玄間の戸があいて、「おめでとございませう」と威勢のいい声とともに獅子舞いが現れると、子どもたちはあわてて奥にひっこみます。

お正月にこんな風景が見られたのも昔の話。赤い顔に金歯をギラギラさせた獅子頭、そして体には緑に白の唐草模様の布をかぶった獅子舞いが、万歳などとともに、家々を門付けして回ったものです。

獅子は、厄ばらい、家内安全を祈って踊ります。特に子どもは、獅子の口で頭を噛んでもらうと健康に育つといわれていたもので、獅子は子どもを見ると口をバクバクさせます。それが怖くて、子どもたちは逃げまどいました。

また、この獅子は火災を防ぐいわゆる火伏せの御利益もあるといわれていたようです。

ところで、正月は伝統的な行事を振り返るいい機会です。また文化財についても関心を持ちたいもの。一月二十六日は文化財防火デーです。昭和二十四年のこの日、世界最古の木造建築である法隆寺金堂の壁画が焼失しました。これをキッカケに文化財保護法ができ、この日を文化財防火デーとしたのです。



地域住民のコミュニティー活動の拠点として建設された五加センター（五加宮代）

五加センターが完成 幅広い利用を期待

昨年七月から工事が進められていた五加センターがこのほど完成し、十二月二十二日に竣工式が行われました。

この施設は、新農業構造改善事業（地区再編）により、作付栽培協定、農地の利用集積を通じて五加地区の農業構造改善を図るとともに、地域住民の対話、研修の場など多目的な利用を通じて、住民福祉の向上とコミュニティー活動の拠点として、幅広く利用することを目的として建設されたものです。

建物の位置は五加宮代で、総事業費七千九百二十万二千円。鉄筋コンクリート二階建て延べ四百平方メートル。一階に研修室（和室五十四・五平方メートル・三十三畳）、調理実習室（二十五・九平方メートル）ホール、便所など。二階は、最大百五十人を収容する多目的ホール（百三十三平方メートル）、営農相談室（三十四・三平方メートル）、湯沸室などを備えています。施設は、村から地区へ管理委

託が行われ、今後は五加センター運営委員会が管理、運営をしていくことになりました。施設を使用する場合は、……▽許可を他人に譲り渡したり、使用目的以外の使用をしない。▽タバコの火の後始末をしつかりする。▽戸締りの確認および使用備品の清掃をする。

……などの厳守事項を守り、いつまでも大切に使用してください。

また、利用しようとするときは、管理人へ早めに予約申し込みし、当日カギを借りて使用してください。（敬称略）

▽管理人 今井俊男（宮代）
☎二八九四、有線三九一七



施設の管理委託を受ける五加区長―五加センターで

■戸籍の窓 十二月〓敬称略



誕生おめでとう
ございます

けいじはん

（中谷）安江 博志 幸子 美幸

（黒淵）安江 博文 紀子 泰亮

（大沢）今井 悦子 等 慎也

（平）中島 泰幸 幸太郎 奈美



いつまでも
おしあわせに

森下 千春（愛知県岡崎市）

安江 清美（大明神）

村雲 和也（西洞）

桂川 宗子（栃山）

伊藤 和正（付知町）

安江ゆりか（日向）



おくやみ
申しあげます

松岡 阿き 85歳（日向）

今井喜一郎 100歳（大沢）

小池 武雄 85歳（西洞）

古田 小糸 89歳（下野）

村雲きのへ 60歳（神付）

防災の誓い新たに

婦人防火クラブ員も参加

消防団出初め式

新春恒例の村消防団出初式が一月五日、午前十時から総合運動場で行われました。

式典には、可茂県事務所長、県議会議員、加茂警察署長をはじめ多数の来賓の臨席を得て、桂川団長以下百八十四人の団員と、昨年結成された東白川村婦人防火クラブ員二十四人、それに可茂消防組合東消防署の署長以下六人の署員が参加し、この一年の防災への誓いを新たにしました。式典に続いて、全団員による通常点検、機械器具点検、分列行進と日ごろの訓練の成果を披露しました。

また、式場で消防業務に功績のあった次のみなさんが表彰されました。(敬称略)

【県知事表彰】▽副団長 村雲和男

【県消防協会長表彰】▽副団長大坪晴生、村雲勝也

【可茂県事務所長表彰】▽分団長 今井和義、安江廣文

【加茂消防協会長表彰】▽分団長 渡辺昭彦、服田順次、松岡重治▽副分団長 安江竹良、安江晴夫、林昇

【郡消防協会長(賞記)】▽団員 安江寛、安江正徳、安江雅人、伊佐治辰夫、安江健二

【同(勤労章十五年)】▽副団長 安江貞行、村雲和男、大坪晴生▽分団長 安江廣文▽副分

団長 安江竹良、安江晴夫、林昇

【村長表彰(特別功労章)】▽副団長 安江貞行

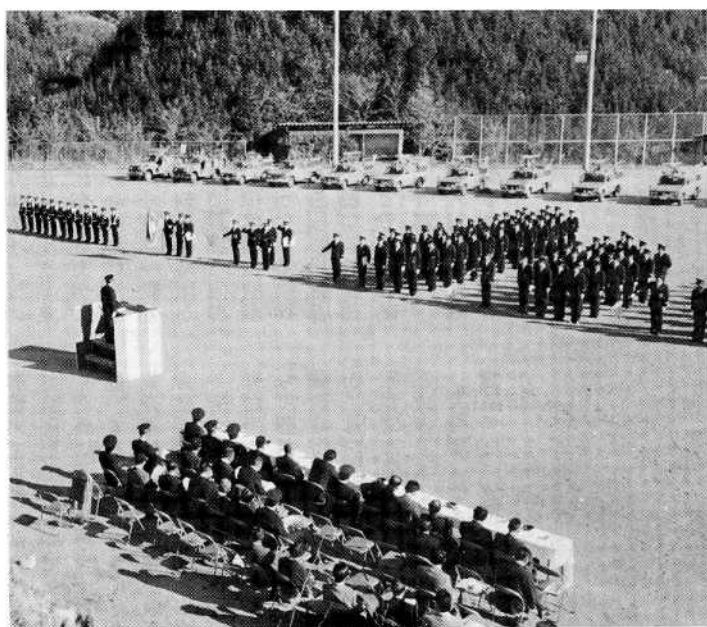
【同(功績章)】▽副分団長 古田伸幸、田口光洋、▽部長 新田久男、村雲常正、安江賢次、今井久喜、桂川義春、安江寛、安江春幸、今井清彦、安江吉信

【団長表彰(勤労賞)】▽団員 田口眞澄、村雲英司、小池正憲、安江修次、村雲正幸、田口和道、今井光、安江寛、古田義英、今井大作、今井守、今井日出明、

熊沢政尚、今井忠春、松岡安幸、安江雅信、安江正大、松岡良典、島倉正明、安江一成、安江正隆、安江祐策、安江庄三、安江裕尚

【同(功績章)】▽団員 安江宏、大坪孝由、中島清彦、安江和良、今井正英、安江正孝、村雲清人、渡辺尚登、田口喜章、安江正好、安江昇、古田節也、牧野知幸、松岡昭信、高井孝二、安江道則、鈴木礼二、安江敏治

【五十九年退職団員消防庁長官褒賞】▽元副団長 安江力男



寒気が身にしみる1月5日、村の守りへの誓いを新たにしました。

消防団出初式＝総合運動場

■善意の寄付―敬称略

【五加センター】

備品購入指定寄付

現金百五十万円―五加区

【一般寄付】

山林一万二千八百十㎡―交告秀雄(柏本)

【東白川中学校へ】

電気アイロン二台―中学校母親委員会

【越原保育園へ】

絵本四十三冊―本郷工作所(陰地)

わら草履二百十足―村雲いちの(日向)

■中学校関係表彰―敬称略

▽朝日作文・小論文・フォト&エッセーコンクール『フォト&エッセーの部』

文部大臣奨励賞今井誠(中学三年)

▽生命保険に関する中学生作文コンクール『地方別生命保険文化センター賞』

二等―今井俊太(中学二年)

■工事入札結果の公表

①は入札期日②は落札金額および落札業者③は指名業者
◇神土角領線

西尾橋整備工事

①十一月十六日②二千七百七十万円―山田土建㈱③丸登

遠くて近い国 チエコスロバキア



東白川中学校
教諭 瀬口 光昭



昨年の九月二十五日から十六日間、東白川中学校教諭瀬口光昭先生が文部省海外派遣団の一員として、ヨーロッパの教育事情を視察、研修されました。その手記をお寄せいただきましたので、前回に続き紹介いたします。

チエコの学校教育

チエコの義務教育は十年間である。八年制の基礎学校（日本の小中学校にあたる。）で初等教育を受ける。その後、生徒一人一人の進路に応じて二年から四年間の中等教育（日本の専修学校、高等学校にあたる。）を受ける。今回の研修では、基礎学校を中心とした視察の機会が与えられました。

学校視察をして、一番、印象的であったことは、子供たちの「真剣な学習態度」である。先生の話にじっと聞かせる姿、集中して黙々と問題に取り組む姿、素直に自分の考えを発表する姿で授業が占められていました。チエコでは、子供の非行も、ほとんどないということであった。教室は整理整頓され、掃除もよくゆきとどき（専門の掃除婦さんがいる。）清潔で落ちついた学習環境の中で勉強していました。次に心に残ったことは、子供たちの「明るく純真な姿」である。学校や街で出会う子供たちの表情には、明るく伸び伸びとしたものが感じられました。あいさつをすれば元気よく答えてくれる。笑顔をもちて話しかけてくれる。写真の注文にも気安く応じてくれる。純真無垢とい

う言葉がびったりするチエコの子供たちであった。これは、家庭での家族のふれ合いを大切にする生活習慣があるからだと考えられる。チエコでは、一般労働者の就業時間は朝の七時頃から午後三時頃までである。仕事を早く済ませて、子供の世話ができるように、こうなっているとのことでした。さらに、商店の営業時間も、ほとんど午後三時頃から六時頃までである。夜の営業はない。日本に比べての姿がずっと、少ないような気がしました。

チエコでは国の将来を担う子供の健全育成ということが名実とともに、行われているような気がしました。

教育制度では、本年度より教育改革が実施され、指導法では教師主導型から児童生徒中心型に切り変えられたというものであった。また、指導内容も、社会の科学技術の発展（チエコは東欧

有数の工業国で、自動車もすべて自国製である。）に対応していくために、特に数学に力を入れた。日本でも実施されたような集合を核とした内容が取り入れられていました。

チエコの学校視察を終えた今、東白川の学校教育そして子供たちの姿とチエコのそれとの間に、多くの共通点を見ることができた。国や体制の違いはあっても、教育には同じ願いがあり心はひとつのような気がしました。

次回は「チエコ雑感」について述べたいと思います。



ヤブロネツ市のミシェノ基礎学校の子供たち

けいじばん

建設㈱、㈱マルト土木、山田建設㈱、㈱立保土木、佐伯綜合建設㈱、㈱郷鉄工所、㈱丸徳鉄工所

◇久須見大野林道測量設計委託業務（三工区）

①十一月十六日②三十万円
—大洋測量設計㈱③大洋測量設計㈱、㈱中日測量設計事務所、㈱三栄コンサルタント

◇栃山線崩落穴埋防止工事
①十一月二十二日②六百六十万円—㈱立保土木③丸登建設㈱、㈱マルト土木、山田建設㈱、㈱立保土木

◇消防防火水槽新設工事
①十一月二十二日②二百五十万円—新田建設③丸登建設㈱、㈱マルト土木、山田建設㈱、㈱立保土木、新田建設

◇柏本線三号橋架替工事
①一月八日②六十二万円—丸登建設㈱③丸登建設㈱、㈱マルト土木、山田建設㈱、㈱立保土木、新田建設、佐伯綜合建設㈱

◇村道穴沢本線排水処理工事
①一月八日②三十三万円—㈱立保土木③丸登建設㈱、㈱マルト土木、山田建設㈱、㈱立保土木、新田建設

◇村道さかぶた線修繕工事
①一月八日②三十五万円—㈱マルト土木③前記五社

学級・講座紹介 ⑤

白寿大学・村誌講座

長浜原子力発電所を視察する白寿大学生



学級、講座紹介もこれで最終回となりました。今回は、教育委員会などの主催ではなく、仲間が集まって自分たちで運営している学習会の紹介です。

白寿大学

村内で最も早く自主運営となり、今年で四年目を迎えています。七十五人の高齢者たちが、「仲間と共に学び語り合おう」と年七回の学習を行っています。内容は、電気知識や社会関係、そして人生修養や健康体力づくりなど幅広い分野に及んでいます。そして、学習会の後に

は、親睦も深めようとゲートボールも行います。

また、年一回は社会見学も行い、昨年は長浜原子力発電所やねむの木学園を視察しました。高齢になっても、学び続けるということはすばらしいことであり、その上、それを自らの手づくりで進めることには大きな意義があります。

村誌講座

東白川村誌が発刊されたのを機会に、教育委員会の主催で村誌解説講座(昭和五十六年度)村誌講座(昭和五十七年度)を開

催しましたが、その参加者が中心となって引き続き自主運営の講座を続けています。

「ふるさとの歴史を学び理解を深めよう」と十六人の講座生が月一回の学習をしています。今年は村の民話を調べたり、地名、

年の始めをスポーツで

新春バスケット・バレー・剣道大会

新春スポーツ大会を恒例の行事に定着してきたバスケットボール、バレーボールに、今年は剣道も加えて、一月二日早朝から村内三会場で開催しました。

中学校体育館では、バスケットボールに男女合わせて八十人が、小学校体育館では、バレーボールに約六十人が、そして中学校講堂では、少年剣道クラブの豆剣士から一般まで約百人が、それぞれの思いを胸に、年の始めをスポーツに汗を流しました。

久しぶりに帰省して顔を合やす同窓生などと語り合う姿も見られ、友好を深める機会ともなりました。

剣道大会では、小中学生の保護者も参加して、もちつきやぜんざいのサービスにひと役買って、お正月の行事らしく盛り上げていました。

屋号、名字の由来を研究したりしていますが、参加者は学習を重ねることに、面白い事実や歴史の流れがわかると意欲を燃やしています。

また、必要な場合は見学学習も取り入れ、昨年は下呂町の威

徳寺跡などを尋ねました。

昭和六十年度も、各種の学級講座を開設します。四月からあなたも新氣一転、どれかの学習会に参加しませんか。

体育協会では、新春スポーツ大会はこの形式で続けていくよう申し合わせ、中学時代の経験者も参加がもつと得られるよう工夫をと考えています。

各大会の結果は、次のとおりです。(敬称略)

■バスケットボール男子の部

▽優勝—四十九年度中学校卒業生チーム、▽準優勝—高校一、二年生チーム、▽三位—一般Bチーム、同中学一・二年生チーム

■同女子の部

▽優勝—五十七年度中学校卒業生チーム、▽準優勝—中学三年生チーム、▽三位—五十八年度中学校卒業生チーム、同五十六年度中学校卒業生チーム

■バレーボール

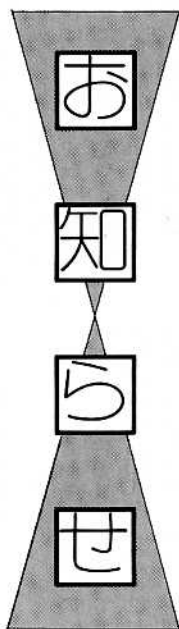
当日の参加者を男子六チームと女子三チームに分けてそれぞれ競技し、年の始めのスポーツ

で汗を流しました。

■剣道大会

◆小学生の部 ▽優勝—安江嘉久(下親田)、▽準優勝—栗本昌子(平)▽三位—安江謙次(平)

◆中学生の部(男子) ▽優勝—安江八城(栃山) ▽準優勝—村雲浩二(加舎尾) ▽三位—村雲潤(大口) ◆中学生の部(女子) ▽優勝—田口奈三子(平) ▽準優勝—古田容子(平) ▽三位—小林亜由美(陰地) ◆中学生の部(初心者) ▽優勝—島倉俊介(下親田) ▽準優勝—安江晴貴(下親田) ▽三位—安江良尚(大明神) ◆高校・一般の部 ▽優勝—今井美道(神付) ▽準優勝—安江正大(日向) ▽三位—村雲陽司(平)



横断歩道と

一時停止規制を新設

以前から要望のあった横断歩道と一時停止の規制箇所が、県の公安委員会で指定されました。今回新しく指定された箇所は次のとおりです。

- ▽横断歩道
- 新魚戸橋南結
- 越原橋南結
- ▽一時停止規制
- 中学校前
- 田口光夫方前

一時停止線からは 自分の進行方向へ方向指示

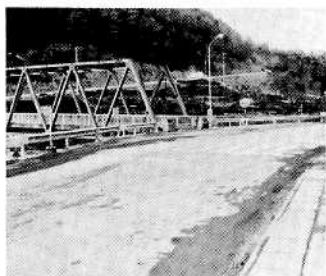
新設された一時停止規制は、いずれも停止線が村道側に白線で引かれていますが、ここであまり知られていないのが、村道から平バイパスへ出る左右の方向指示機（ウインカー）の使い方です。

これらの出口は、いずれも平バイパスと平行したような形で接続していますから、どちらに方向指示を出して進行したらよ

いか迷う方もあると思いますが、交差点の三差路ですので、自分の進行方向へウインカーを出すのが正しい使い方です。

従って中学校前から加子母方面は左、白川方面は右。田口光夫方前では白川方面へは右、加子母方面へは左となります。

高速道路出入口などの車線変更の場合と違いますのでご注意ください。



新設された横断歩道—新魚戸橋

農林業センサスに ご協力ください

農林水産省では、本年二月一日現在で、農業センサスを実施します。

これは、経営耕地面積が五ア

ール以上あるか、あるいは過去一年間の農産物総販売金額が十万円以上ある農家、または農家以外の農業事業体（協業経営体組合など）を対象として行われる調査です。

昭和二十五年以来、五年ごとに実施されているこの調査は、我が国の農家戸数、耕地面積、農業経営の概況など農家の現状を明らかにし、各種農業振興施策を推進するための基礎資料として、非常に重要なものです。

調査事項は、統計を作成するためだけに使われるもので、申告者に不利益を生じるようなことはありません。

ご多忙のことと存じますが、この調査にご協力をお願いします。

＝ 商工会だより ＝

結婚式は村内で

東白川村商工会では、村内で結婚式を挙げる事ができるようにと、商工部会を中心に現在真剣に検討を重ねています。

以前は、公民館結婚式という形で結婚式が行われていましたが、ここ三年ぐらい前からはほとんど村内で挙式する人がなくなり、村外へ出るようになりました。これには、時代の流れや、他

の施設の便利さなどいろいろ考えられます。

そこで、村内の商工業者が力を合わせて、今の若い人たちに受け入れてもらえる簡素な式と披露宴が村内の施設でできるようにと、そのシステムづくりに取り組んでいます。

昨年、村が行った住民意識調

年金だより

国民年金額を引き上げ

昨年十二月、国民年金額の二%引き上げが行われ、拠出制年金は昨年五月、福祉年金は昨年六月にさかのぼって実施されました。

主な年金額は次のとおりです。

■拠出年金(五十九年五月から)
老齢年金

●二十五年 五七六、六〇〇円

●十年年金 三六四、五〇〇円

●五年年金 三一〇、三〇〇円

障害年金一級七七一、三〇〇円

障害年金二級五七三、八〇〇円

母子年金(子一人母子加算) 七五三、八〇〇円

遺児年金(子一人) 五七三、八〇〇円

■福祉年金(五十九年六月から)
老齢年金

●全額支給 三〇七、二〇〇円

●一部支給 二八二、〇〇〇円

査にも「結婚式の簡素化を考えている」と答えた人が七〇・九

%もあり、今後村ともいろいろ相談しながら、他町村への視察や青年団、婦人会との懇談会などを重ねて研究し、なんとか実現させたいものと動き出しています。

障害福祉年金

●一級 四六〇、八〇〇円

●二級 三〇七、二〇〇円

母子福祉年金(子一人) 三九九、六〇〇円

保険料も引き上げ

六十年四月分から

年金額が物価スライドによって引き上げられたことに伴い、保険料月額も昭和六十年四月分から六千七百四十円(現行六千二百二十円)に引き上げられます。さらに付加保険料を掛けている方は、四百円が加算されます。

国民年金の保険料は、年金財政を健全に運営するため、毎年すこしずつ引き上げが予定されていますが、今回は五百二十円の引き上げとなりました。

昭和59年分所得相談日程

月 日	対 象 集 落	備 考
2月16日(出)	大口(午前中)	◎ 相談時間 午前9時から午後4時まで
18日(月)	宮代・大沢	
19日(火)	柏本	
20日(水)	上記の五加で済んでいない人	
21日(木)	曲坂・黒瀬	
22日(金)	日向	
23日(出)	下野(午前中)	
25日(月)	陰地	
26日(火)	大明神	
27日(水)	栃山、越原の済んでいない人	
28日(木)	西洞	◎ 会 場 村民センター 2階会議室
3月1日(金)	中谷・加舎尾	
2日(出)	久須見(午前中)	
4日(月)	下親田・中通(下)	
5日(火)	上親田	
6日(水)	この日は、税務署から通知のあった人のみを対象とします。(林業研修室午前10時～午後3時半まで)	
7日(木)	神付・中通(上)	
8日(金)	平1班～3班	
9日(出)	申告書整理	
11日(月)	平4班～6班	◎ 持参品 筆記用具、印かん、関係書類 (・生命、建物などの保険料の支払証明 ・水稲被害証明 ・医療費領収書 ・森林施業計画証明 ・源泉徴収票など)
12日(火)	平7班～9班	
13日(水)	平10班～12班	
14日(木)	神土の済んでいない人	
15日(金)	申告納付期限	

村県民税 申告は早めに
所得 税

申告期間
2月16日～3月15日

昭和五十九年分の所得税の確定申告と村県民税の申告の受け付けは、二月十六日から始まり三月十五日が申告期限となっています。申告書は、自分で正しく記載しなるべく早めに提出してください。

期限間近になりますと、税務署や村の相談会場が大変混雑し、落ちついて相談できなかつたり、長時間待たなければならないことになりかねません。

ことに、今回の申告から白色申告書で営業、農業、その他の事業の所得や不動産所得、山林所得のある人については、確定申告書に収支内訳書を添付しな

ければなりません。申告に必要な書類など早めに準備してください。

申告をしなければならぬ人が申告しなかったり、間違った申告をしたりしますと後で不足の税金を納めるだけでなく、加算税(金)や延滞税(金)を納めなければならぬので、自分で正しい申告と納税をお願いします。

そのほか、税金、申告などについての詳しいことは、関税務署 ☎05753②2233 か役場の税務係、有線2141、2120へおたずねください。

陣 水 の 背

入試を間近に控え、「背水の陣」で勉強を続けている浪人受験生も少なくないことでしょう。

一歩も引けない立場に置かれて、命懸けでやるしかない決心して事に当たるとき「背水の陣を布く」といいます。これは『史記』に出てくる中国の名将韓信の故事に基づく成句です。

漢の兵を率いた韓信が趙の軍隊と戦ったとき、背後に川のあり地形に陣を取ったので、その作戦を見た敵軍は、バカなことをすると笑いました。しかし、退却すれば水におぼれる不利な態勢を韓信がわざわざ選んだのは、味方に決死の覚悟で戦わせるための深謀遠慮だったのです。果たして、戦いは漢軍の大勝に終わりました。

「背水の陣」は東洋の故事成句ですが、西洋にも似た表現があります。英語で「ボートを焼く」とか「橋を焼く」という言い方がそれです。

海へ逃げるにはボート、川を渡るには橋が必要ですが、自らの退路を断ってしまうところこそは「背水の陣」と同じといえるでしょう。



放送大学

テレビ、ラジオを利用した新しい大学。六十年四月からスタートする第一期計画では、東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木、茨城、群馬の各都県在住者で、放送授業を視聴できる人が対象です。昭和六十年度第一学期の募集人員は次のようになっています。

①大学の卒業を目指す「全科履修生」 四千人 ②自分の学びたいテーマに基づいて一定の科目を一年間履修する「選択履修生」、一学期間だけ履修する「科目履修生」、放送大学の入学資格をとるための「特修生」を合わせ六千人

放送授業は早朝六時から深夜十二時までテレビ、ラジオの専用の電波を使って行われます。学生は、家庭で放送授業とテキストによって学習するほか、特定の科目については各地の学習センターに向いて面接授業を受ける必要があります。

放送大学は、生涯教育の要請にこたえ大学教育の機会を拡大するもので、既存の大学などとの連携によって、高等教育全体が改善されることが期待されています。



熱戦の末優勝した陰地Bチーム＝中学校体育館で

陰地Bチームが優勝

子ども会親睦卓球大会

今年で十一回目を数えるこの大会は、一月十三日に中学校体育館で開催しました。村内十五の単位子ども会から二十二チームが参加。一チーム五人で編制し予選リーグと決勝トーナメントを行いました。

この大会は、子どもの冬の体力づくりと、子ども会同士の交流を目的として行うもので、学年を越えた縦のつながりを体験したり、団体行動を体験する意義のあるものです。

結果は次のとおりです。▽優勝―陰地Bチーム、▽準優勝―日向・曲坂チーム、▽三位―陰地Cチーム、同平西、大口チーム

トピックス

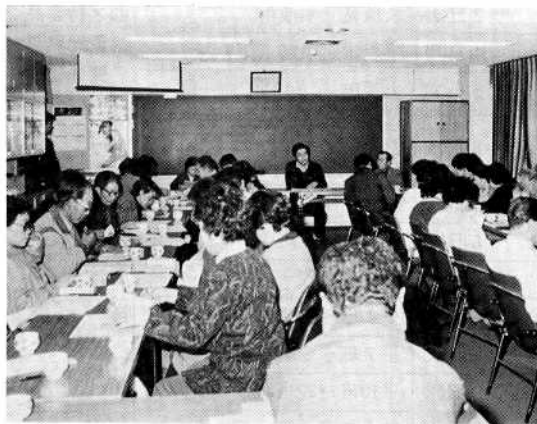
トピックス

トピックス

十二月二十日、午後七時から村民センターで一般住民を対象に「肝臓病教室」を開きました。講師には、東白川病院の田尻下孝夫先生をお迎えして、肝臓の働きや病気の予防について勉強し、かけがえのない肝臓についての認識を新たにしました。

最初に映画「肝臓病の予防」を見て、田尻下先生から「肝臓病について」講話があり質疑応答と、あつという間に予定の二時間が過ぎてしまいました。今年は血液検査を実施し肝機能検査を行ったこともあり、関心の高いテーマで、参加者も五十三人と多く、中には夫婦、親子の参加もあり盛況でした。こうした教室をもっと開いてほしい……との声にパートⅡ・Ⅲとして三月に高血圧教室、高血圧予防教室を開催します。

盛況だった肝臓病教室



田尻下先生の講話を聞いて熱心にメモを取る教室生＝村民センター

暮らしのカレンダー

※冬期健康相談

- ・とき 2月1日～22日
- ・ところ 村内各集会施設
- ―冬場の健康確認のためぜひご参集ください。全村民が対象です。

※公民館講演会

- ・とき 2月3日
- ・場所と時間
五加センター10:30～正午
越原公民館 13:30～15:00
- ・対象者 一般住民
- ―講師は、長井昌子先生＝県教育委員会。家庭教育について

※中央婦人教養講座

- ・とき 2月13日
- ・ところ 村民センター

※健康院受診

- ・とき 2月13、27日
- ・ところ 岐阜市健康院
- ・対象者 受診希望者
- ―3時間ドック、女性の希望者は子宮ガン検診も受けられます。受診を希望する方は早めに民生課保健係へ申し出てください。

※熟年大学

- ・とき 2月14日
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 熟年大学生

※読書講座

- ・とき 2月15日
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生

※フッ素塗布

- ・とき 2月20日 13:30
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 3歳までの希望者
- ―手数料500円が必要

※乳児相談

- ・とき 2月21日 13:00
- ・ところ 母子健康センター
- ・対象者 S59.9.1～59.11.30
生まれの子と母親。医師の診察があります。

※妊婦学級

- ・とき 2月27日 13:00
- ・ところ 母子健康センター
- ・対象者 4月～6月出産予定の妊婦

今月の図書



泣かないで母さん

鶴島 光重著

この小説は過日テレビで放映された「わが子よ」の原作です。

交通事故が激増している現在、わが子が事故の被害者になる可能性に私たちは毎日直面しています。もし我が子が事故で植物人間になってしまったら私は一体どうなってしまうでしょう。

この本は懸命に再起しようとする娘とそれを支える母との生に対する必死の姿が描かれており、思わず涙があふれます。

健康な私たちが一日一日を大切に生きなければならぬことを教えてくれます。

この世をば

永井 路子著

藤原道長は一条天皇の母・姉の詮子の後押しで倫子（宇多天皇の曾孫）と結婚。

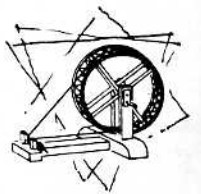
長兄道隆は権力を掌握し、次兄道兼は権威を競います。血族同志が地位昇進の執念に燃え暗闘にあけくれるのですが、疫病の流行により上位者がごとごとく死亡し、道長政権がスタートします。

妻倫子の産んだ彰子を一条帝に入内させ男子出産。やがて孫が後一条帝として出現。道長は望月の世を謳歌します。

「この世をばわが世とぞ思う望月のかけたることのなしと思えば」……歴史の中の平安朝を凝視した時代像を描いています。

行火（あんか）と
炬燵（こたつ）

ふるさとの民具 ②0



「あんか」は、行火炉（あんかろ）の下部分を略した語で、室町時代に、禅僧によって宋（そう）からもたらされた当時の名称だといえます。

手足をあたためるために用いる移動用の暖炉で土製の火盆（ひいれ）にふたをかぶせただけの、簡単なものもあり、普通には、木や土で箱のようなものを作り、この中に火盆を置きました。「ねこ」、「ねここたつ」、「ばんこ」、「ばんどこ」などという懐しい名称もこの村に残っています。

近年になって、持ち運びのできる置炬燵（おきこたつ）が行われるようになると、行火と炬燵は、混同されるようになりまし。

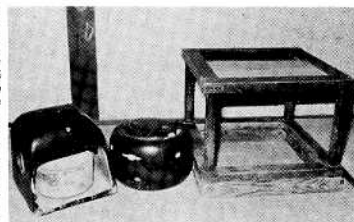
炬燵は、冬季、床に炬を設け、上にやぐらを置き、ふとんを掛けて、下体を暖めるための和室用の採暖用具です。

これを「こたつ」というのは火桶子（かとうし）の宋音にもとづくもので、室町時代に禅宗から広まった語であろうとい

います。東白川村でも古くは、いろいろにやぐらを掛けて炬燵にする家がありました。これは、全国的には室町時代にはいつてから始まったようです。当時は、このやぐらのことを炬燵とい、それも現在のものより低かったようです。一般にこの炬燵のことを掘炬燵といいましたが、東白川村では掘炬燵とは、炬の部分

を深く切り込み、周囲に腰を掛けて暖を採ることのできる三尺平方の炬燵（一名「三尺炬燵」）のことをいいました。

現在の高さのやぐらが現れるようになったのは近世の初めで当時これを高炬燵といいました。このころから都市では、簡易な置炬燵が用いられはじめ、いろ



電気に代わる前はこんな形の行火や炬燵が使われていました。

「炬燵で河豚汁（ふぐじる）」という言葉があります。炬燵にあたって休養しながら、一方では危険な河豚汁を食べることで、慎重にする一方で危険なことをすること、すなわち、矛盾したことをするたとえです。

今月の料理



かぶと鶏のうま煮

【材料】四人分）かぶ四個、鶏骨つきブツ切肉三百g、出汁二・五カップ、砂糖大さじ二、うす口しょうゆ大さじ三、酒大さじ一、ゆずの皮少々、

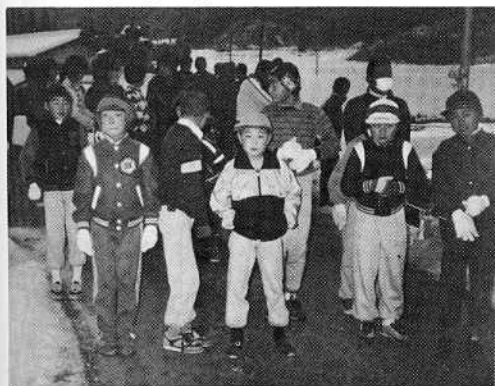
【作り方】①かぶは洗って皮をむき、二・四つに切つて面取りをする。②鍋に出汁を入れて①のかぶと鶏骨つきブツ切肉を加え火にかけて煮る

③②のかぶがやわらかくなったら砂糖を入れ少し煮てうす口しょうゆと酒を加え落とし蓋をして弱火で汁気がなくなるまでゆっくり煮込む。④ゆずは皮をうすくそぎせん切りにする。⑤器に③を盛りゆずの皮を飾る。

さきいかの甘辛味

【材料】四人分）さきいか八十g、（合わせ調味料、とうがらしみそ、いりごま白、ごま油、みりん各大さじ一、砂糖大さじ二、おろしにんにく二分一かけ）（作り方）合わせ調味料を混ぜ合せ、さきいかを入れ手でよくもみ込む。

大明神子護神社前広場でスタート
を待つ参加者たち



カメラ の目

10年目を迎えた 元旦マラソン

大明神では、1月1日に恒例となった子護神社元旦マラソン大会を行いました。この行事は、組内の親睦を深めるため地元の体育委員が主催して行っているもので、今年で10回目を迎えました。

有線放送のラジオ体操を行って体をほぐし朝7時に、号砲を合図に子供から大人まで60人が約1.6kmのコースを力走しました。参加者には福袋が配られ、次の10年連続出場者をたたえました。(敬称略) 熊沢英治、安江正晃、桂川耕輔、松岡常好、熊沢きよみ。

地区の体育委員は「こうした行事を大切にしたい」と語っておられます。

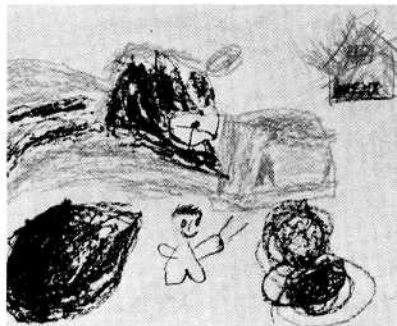
田口哲也くん(一歳〓西洞)
昌弘さん・浩子さん長男



すくすく育て

ひのようじん
ひあそびはしません
はったゆかり(平〓五歳)

神土保育園



子どもの作品



あなたの作品
をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

- 新春といふ思ひのみ空に向ひ山に向ひてただに過ぎむ
田口 巽年
栗畑に煙上りぬ栗のいが集めて焼くらし雨催ひの今朝
安江 幸
それぞれの過去は語らず老人ら明るく生くるホームの日々
三戸 きり
○黒沢の真清水染めて落葉松の落葉沈むる流れの浄し
安江 竜主
炬燵がけモティーフなしの続け編み重み感じて日に日に広く
安江 すみよ
走り去る車輪に巻かれ舞ふ落葉かきこそと鳴り後を追ひつつ
田口恵津子
位置を替へ師走の日光惜しみつつ乾す洗米の淨くかがやく
安江 澄
嬉しさに膝つき合す幼な女と指うごかしつつお手主作る
村雲 うめ
○一周忌の墓参の帰り路ふと見たる冬の虹かないと鮮かに
今井 良吉
本殿に詣する石段けはしくて裸足に踏みゆく老の兆しか
田口 一枝
○今朝産みし卵賜ひて昼の膳しあはせに充つ一人住ひて
今井 かな
風邪に伏すわが枕辺に食べよとて持ち来し粥に松茸匂ふ
上野田 早瀬 久子
岩山に白き煙の立つ見えて児らと語らふ日向のどけし
安江 守平
修学旅行の孫より土産の京人形棚に飾りて心根慰ふ
伊藤 美枝
子を背負ひ腹を抱へて女ゆく吾が若き日の浮びて哀し
小池 弘子
○玻璃戸越し近づく雄鳩見守りて暫し箸をば使ひ忘れき
伊藤 重雄
左義長のたいさしを受け火魔除けとかまどの上に捧げ祀ぬ
今井 統子
○伝承の亡ぶる時は民族の終りならずや歌は守るべし
田口 良三